

兵庫県のり漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 2号)

今回調査では、大阪湾から流入する海水の影響を受ける東部の調査地点において窒素は7 $\mu\text{g at / L}$ 台、それ以外の調査地点では4~5 $\mu\text{g at / L}$ 台の値を示しました。今のところ、いずれの地点においても栄養塩は平年並~やや高い状況となっていますが、この海域西部で数種の珪藻が多く確認されますのでその動向が注視されます。

(水温) 漁場平均20.3℃。10月末以降気温の低い日が続いており、順調な水温降下が見られ平年比+0.2℃であった。

(塩分) 平均32.14psu。前回 (31.92psu) より0.22psu高い。

(栄養塩、珪藻) 漁場内の窒素は東部で7 $\mu\text{g at / L}$ 台、中央~西部で4~5 $\mu\text{g at / L}$ 台であった。現在、播磨灘北西部域を中心に比較的大型のディチルムを主体とした数種の珪藻が多く発生していることもあり、この海域の中央~西部域でも同様の傾向が確認された。これら珪藻の出現期間や発生量によっては栄養塩の減少を引き起こす可能性も考えられる。大型珪藻コシノディスカスも確認される。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	22.5	20.3	20.1	19.4
窒素	6.7	5.7	4.8	7.5
リン	0.68	0.61	0.63	0.76

(10/31) (11/19)

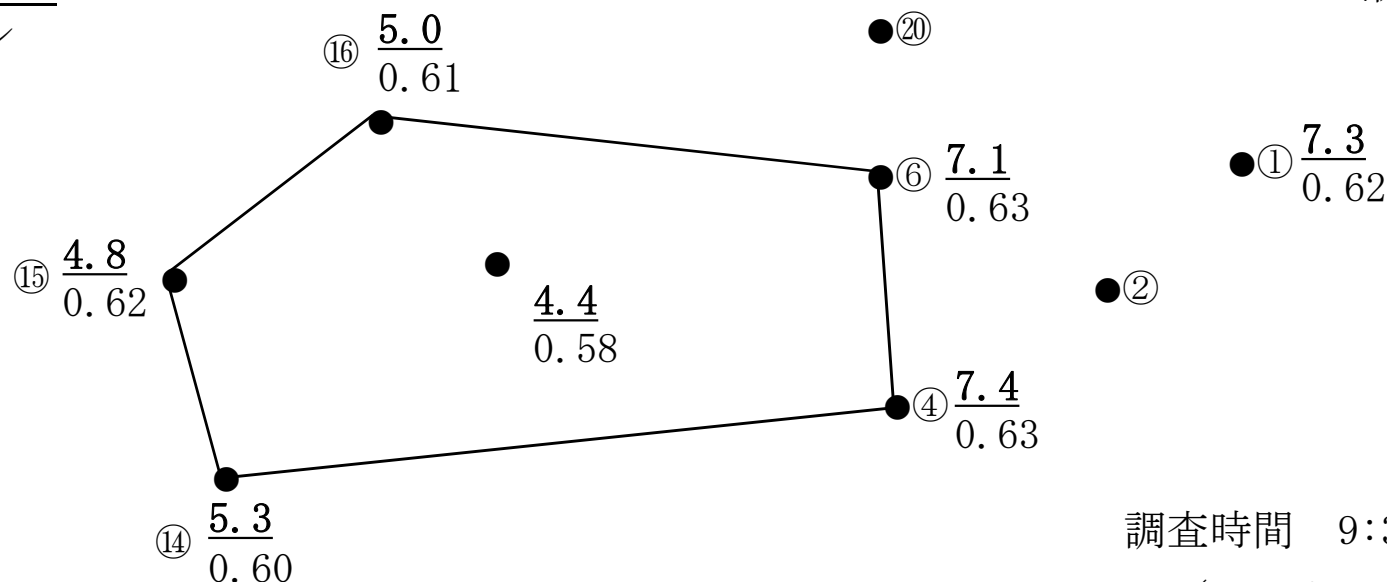
平成28年11月14日調査

栄養塩図

潮：上げ潮

窒素

リン



調査時間 9:39~10:23

(カンタマ① 7:44)

水温・塩分図

水温

塩分

